

尊厳死宣言

下記の通り、尊厳死についてわたしは宣言いたします。

第1条

宣言者である私、〇〇〇〇は、私が将来なんらかの病気を患い、それが不治のものであり、かつ、その病気が原因で死が迫っている場合に備えて、私の親族、友人並びに私の医療に携わる方々に自らの死の在り方について、心身共に健全である現在のうちに次のとおり希望を申し述べます。

また、この希望は私の精神が健全な状態にあるときに私自身が撤回しない限り、その効力は持続されるものであることを申し添えます。

第2条

- 私の疾病が、現在の医学では不治の状態に陥り 既に死期が迫っていると担当医を含む2名以上の医師により診断された場合には、死期を延ばすためだけの延命措置は一切行わないでいただければと思います。
- しかし、私の苦痛を和らげる処置は最大限に実施して下さい。そのために、麻薬等の副作用により死亡時期が早まったとしてもかまいません。
- 運転免許証の裏書に臓器提供の意思を示しています。移植に適した臓器がありましたら、提供が実現する処置をお願いします。
- 以上のとおり、人としての尊厳を保った安らかな最期、すなわち尊厳死が迎えられようにご配慮願います。

第3条

私のこの宣言による要望を忠実に果たして下さいの方々に、深く感謝申し上げます。そして、その方々が私の要望に従ってされた行為の一切の責任は私自身にあります。

警察・検察の関係者におかれましては、私の家族や医療者が私の意思に沿った行動を執ったことにより、これらの者を犯罪捜査や訴追の対象とすることのないよう、特にお願いします。

以上

令和6年〇月〇日

宣言者 〇〇〇〇 印

住所

行政書士 〇〇〇〇 印